



ほけんだより 11月号

令和6年11月5日 筑後二川保育園 文責：龍野

異例の高温続く10月でしたね。

朝晩はこれまでに比べると気温が下がるため、1日の寒暖差が大きくなりそうです。しかし、日中活動していると暑い時もあります。難しいとは思いますが、調節できる服装でお願いいたします。

10月のほけんだより臨時号でもお伝えしました「マイコプラズマ肺炎」が全国的にも流行していますが、先日内科検診をして頂いた佐藤先生からも「患者さんでマイコプラズマのお子さんが多いです」と報告を受けました。飛沫感染と接触感染が中心で、集団で過ごす場面で流行しやすいとされています。症状は、「発熱」「全身の倦怠感」「頭痛」「咳」「皮膚の発疹」特に、咳は熱が下がったあとも数週間続くのが特徴。

※インフルエンザ等の予防接種を行う場合は、登園前ではなく、登園後やお休みの日に接種できるよう調整をお願いいたします。

フード付きの服（アウターも含む）は事故やトラブルのもと！

フード付きの服を着ての登園はご遠慮ください。

理由は、「フードやフードの紐が遊具などに引っかかる」「子ども同士で引っ張り合う」「フードをかぶると視界がさえぎられ危険」

予期せぬ事故を避けるためにも、ご協力をお願いいたします。

11月8日は「いい歯の日」



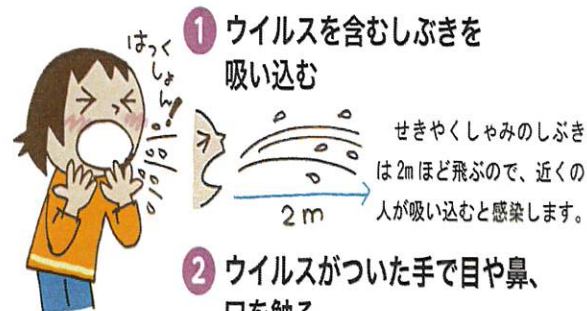
日本歯科医師会は、「生涯を通じた歯の健康づくり」を実施するため、8020運動を進めています。8020運動とは、80歳まで自分の歯を20本残し、健康な食生活ができるようにというものです。自分の歯を残すためにも、食後の歯みがきを忘れずに、栄養と健康に気をつけて生活しましょう。

きれいにみがけているかの歯みがきチェックや、仕上げみがきは虫歯予防のために行うようにしてくださいね。

先月の歯科検診時、「二川の子どもたちは歯がきれいで虫歯が少ない」と褒められましたよ♪

ウイルス、どうやってうつる？

風邪のウイルスは、感染している人の咳やくしゃみ、会話の際のしぶき（飛沫）と共に飛び散ります。ウイルスを含むしぶきを吸い込んだり、ウイルスのついた手を介して目や鼻、口からウイルスが体内に入ったりすることで感染します。



1 ウイルスを含むしぶきを吸い込む

せきやくしゃみのしぶきは2mほど飛ぶので、近くの人が吸い込むと感染します。

2 ウイルスがついた手で目や鼻、口を触る

ウイルスが付着したものに手で触れると、ウイルスが手につきます。ただし、手についただけでは感染しません。

手を洗ってウイルスを洗い流そう

ウイルスが手についても、洗い流せば感染のリスクが下がります。手を洗うときは、せっけんをしっかり泡立て、指の間、指先までしっかり洗い、流水でよく流しましょう。

ウイルスのついた手で、目や鼻、口を触るとウイルスが体内に侵入します。

感染!